

提案審査書類の審査結果及び審査講評

1 工事名

令和2年度小浜第3発電所大規模改修工事

2 審査日

令和2年9月4日

3 参加資格確認

参加資格審査書類提出者名	参加資格の有無
イビデンエンジニアリング株式会社	有
正興・長大・カネトモ特定建設工事共同企業体	有
株式会社シーテック	有

4 評価結果

(1)イビデンエンジニアリング株式会社

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400点)	事業全体に関する項目 (175点)	105.5
	設計建設業務に関する項目 (225点)	133.2
価格評価項目 (100点)		100.0
合計点		338.7

(2)正興・長大・カネトモ特定建設工事共同企業体

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400点)	事業全体に関する項目 (175点)	87.6
	設計建設業務に関する項目 (225点)	118.6
価格評価項目 (100点)		95.0
合計点		301.2

(3)株式会社シーテック

評価項目		評価点
非価格 評価項目 (400点)	事業全体に関する項目 (175点)	100.7
	設計建設業務に関する項目 (225点)	140.3
価格評価項目 (100点)		95.7
合計点		336.7

5 審査講評

総合審査評価会議の評価の概要は以下のとおりです。

イビデンエンジニアリング株式会社においては、水車の選定にあたり塵芥対策やライフサイクルコストに効果があるターゴ水車を提案されていました。

正興・長大・カネトモ特定建設工事共同企業体においては、施設管理の効率化等に積極的に新技術の導入を提案されていました。

シーテック株式会社においては、発電諸元の設定や施工計画など全体を通して堅実な提案がされていました。

評価会議は、公正な評価の上で、評価点の最も高かったイビデンエンジニアリング株式会社を優先交渉権者として選定しましたが、いずれの者の提案も十分に期待の持てる内容でした。3者の多大なる努力に対し、深く感謝を申し上げます。

イビデンエンジニアリング株式会社に対しては、県が示した要求水準はもちろんのこと、提案審査書類及びプレゼンテーション時の質疑応答の内容を、提案価格の中で確実に履行することが求められますが、その上で、次の事項を評価会議の意見として尊重することも求めます。

○安全対策

- ・ 安全最優先で工事に臨むこと。

○施工計画

- ・ 周辺他工事と現場が錯綜することが予想されるため、関係自治体や関係機関と設計段階から十分打合せを行うこと。
- ・ 分岐管や放水庭の改修にあたってはダム管理者との、系統連系にあたっては送配電事業者との協議・調整を積極的に進め、令和3年12月までにFIT申請が行えるようにすること。

○地域に開かれた発電所

- ・ 非常時に周辺地域へ電力供給が行える設備や学習設備の整備を進めるとともに、工事の見学会を積極的に行うこと。

○コンセプトの遵守

- ・ 最先端技術の導入などにより保守の簡略化を図るとともに、止まらない発電所（長期間ランナ補修・交換等の改修を必要とせず、塵芥の詰まりに対応できる水車）を目指すこと。